

# 川づくりワークショップ

【第3号】  
平成24年6月15日発行  
古賀市役所建設産業部建設課

## 第3回ワークショップ開催！

～皆さんと考える川づくり  
本格的な整備計画の検討を開始しました～

平成24年6月2日（土）、13時30分から市民の皆さんに集まっていただき、第3回ワークショップを開催しました。

今回のワークショップから、本格的に川づくりの整備イメージの検討に入りました。たくさんの意見が出され、大変有意義なワークショップになったのではないのでしょうか。

では、第3回ワークショップを振り返ってみましょう。

## 第3回ワークショップの内容

- ・川づくり箇所の都市計画上の位置づけ
- ・大根川の諸条件について
- ・川づくりの整備イメージの検討
- ・整備イメージを検討する範囲

### 川づくり箇所の都市計画上の位置づけ

現在、市役所そばの大根川について川づくりを検討していますが、このエリアが古賀市の都市計画上、どのような位置づけになっているかについて建設課から説明を行いました。

このエリアは、「美しいまちづくりプラン（景観基本計画）」の中で、「水辺の景観形成」という分類に位置付けられております。このプランにおいて、水辺環境の課題として河川及び周辺環境の悪化や親水空間不足を挙げています。また、その課題克服のために、河川周辺環境の維持・保全を行う、モデル地区での親水空間の環境整備を行うと謳っています。

このワークショップは、プランにある課題解消につながる取組そのものと言えます。これからもしっかりと川づくりを考えていきましょう。

### 大根川の諸条件について

前回のワークショップに引き続き、福岡県土整備事務所の豊増係長から説明をいただきました。

落差工の高さ、堰の高さの測量結果から、通常時はほとんど全ての水が旧河川に流入していることについて改めて説明受けました。

また、大根川井堰については、市が飲料水として取水しているために水をせききる、また海水の遡上を防止するという2つの役割があるとの説明を受けました。



説明を聞く参加者

### 川づくりの整備計画の検討

第1回から今回まで、大根川の歴史、現状の河川構造物の高さや流量の諸条件、河川工学、今回検討している箇所の都市計画上の位置づけ等について学習してきました。そこで、今まで学習してきたことを基に、班に分かれて実際の川づくりの整備イメージの検討を行いました。

参加した皆さんは、このときを待ちに待っていたかのように、将来の川のイメージを思い描きながら、川の流れ（法線）に変化を持たせたらいいよね、このエリアは川に降りて水に親しむ空間にしようよ、ここに橋を作っではどうだろう など、たくさんの意見を出されました。



班ごとの意見集約

どんどん出される川への想い。どれも大根川やふるさと古賀への愛着から出てきた意見、また、子どもたち、孫たちへより良い川・郷土を引き継ぎたいという思いから出てきた意見であったのではないのでしょうか。

これらの意見をテーマごとにまとめ、班ごとに発表を行いました。発表者は、それぞれの班代表として、班で話し合った川づくりの整備イメージについて、熱く語ってくれました。発表を聞く皆さんも熱心に耳を傾けていました。



熱く想いを語る発表者

各班でまとめた川のイメージはたくさんありましたが、テーマ別にまとめると次のようなものでした。

#### 【川・周辺の姿・環境・利用】

- ・川の流れるは蛇行させることでより自然な川に近づける
- ・生物がたくさん住むような環境
- ・水辺の植物が重要
- ・遊びの場と憩いの場との共存
- ・橋をかけて、現場に寄り付きやすい動線とする
- ・子供の遊び場としての利用（安全性確保）

#### 【川づくりを検討するにあたっての意見】

- ・子どもの意見、アイデアを募ることも大切
- ・大根川本流の景観、利用も含めて考えたい

#### 【維持管理】

- ・創ったあとの維持管理が課題

#### 整備イメージを検討する範囲

班ごとに発表してもらいましたが、旧河川の範囲で検討した班、三角州まで含めて検討した班、さらに本流まで含めて検討した班と、検討する範囲に違いがありました。

そこで、整備イメージを検討する範囲について、共通認識を持つための確認を行いました。

#### 確認事項

整備イメージを検討する範囲は、三角州や本流も含めた広い範囲とし、みんなで夢を語っていきましょう。

ただし、今回工事ができる範囲は旧河川とする。



ワークショップでは整備イメージの基本案を策定し、その基本案に従って実施設計を行います。

#### 本日のまとめ

各班からたくさんの意見が出されましたが、検討するにあたって、実際どんな植物が繁茂しているのか、どんな魚が泳いでいるのかなど、現地の状況をもっと深く知らないといけないことがわかりました。そこで、次回は現地に行って、川の状況を観察することとなりました。

## 次回のワークショップのご案内

次回は、**7月7日（土）13:30～15:30**、**市役所大会議室及び市役所そばの大根川**で開催します。

テーマは次のとおりです。お誘いあわせの上、皆様のご参加をお待ちしております。

#### 次回のテーマ

- ・もっと深く大根川を知ろう（現地観察）
- ・他の河川の川づくりの事例紹介